

所属学科：地球圏システム科学科

氏名：福本 直生 (B4)

派遣期間：2018/3/19～2018/3/26 派遣先：タイ  
マヒドン大学

## はじめに

国際交流と地質を学ぶ事を目的にマヒドン大学カンチャナブリキャンパスへ行ってきました。現地では地質を専門として学んでいる学生と共にタイの歴史や文化、地質等を学びました。お世話になった、現地の方々や山口大学の方々にお礼を申し上げます。

## スケジュール

3/19 大学案内

3/20 異文化交流(鉄道)

3/21 異文化交流(遺跡)、巡検(洞窟)

3/22 巡検(化石)

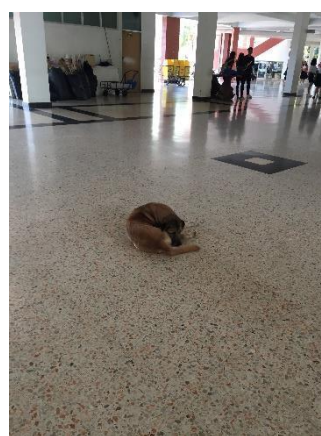
3/23 脇田先生の授業、巡検(洞窟)

3/24 異文化交流(滝) 3/25 異文化交流(寺)

3/26 プレゼン発表

## マヒドン大学について

マヒドン大学はタイにある国立大学で、バンコクを中心に4つ存在します。今回私が行ったのはカンチャナブリキャンパスで、そこには理学部があります。カンチャナブリは映画『戦場に架ける橋』の舞台になったこととしても有名です。キャンパス内には犬や猿が多く生息し、またサソリも見ました。タイの学生はとても陽気でパーティーなどが好きです。タイは日本と比べてとても暑く、時々スコールがあります。下図はマヒドン大学生との集合写真(左)キャンパス内にいた犬(右)です。



## タイでの生活

基本的に移動手段はモーターバイクです。食事は辛いものが多く、美味しいです。日本では食べたことのない果物をたくさんいただきました。ココナッツは人生で初めて飲み、また中の皮まで食べました。現地の学生とは基本的に英語でコミュニケーションをとります。非常に苦戦しましたが、一緒に行った仲間に助けられました。また、身振り手振りで体のすべてを使い伝える努力をしました。タイの物価は非常に安く、外食は一食日本円で150円ほどです。水道水は飲めないためコンビニで水を買いました。下図はタイの飯です。



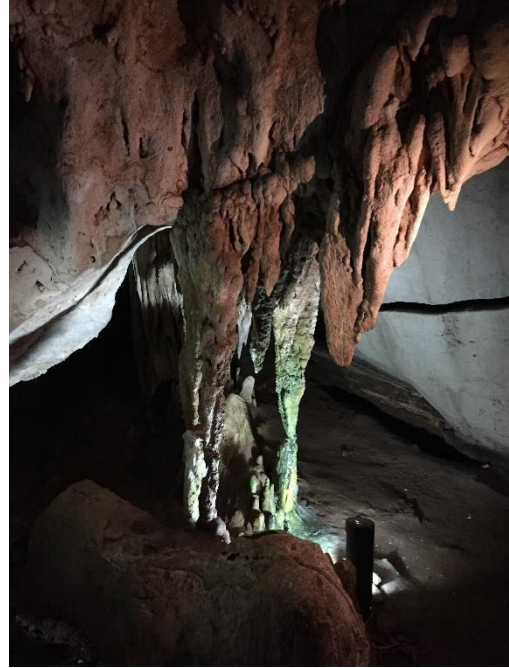
## 異文化交流について

遺跡や寺、鉄道などを見学させていただきタイの文化を学びました。中でも泰緬鉄道は深く学びました。泰緬鉄道とは、第二次世界大戦中にタイとビルマ(ミャンマー)を結んでいた鉄道です。映画『戦場に架ける橋』の題材となっており、実際にその現場を見ました。忘れてはならない歴史の一つであると思います。下図は泰緬鉄道での写真です。



## 巡検について

カンチャナブリには広く石灰岩が分布しており、貝の化石が多く見られます。また、洞窟も多数あり、山口県美祢市の秋吉台にある洞窟と似ています。下図は貝の化石や洞窟です。



## 最後に

地質だけでなく文化や歴史を学べたことは非常にいい経験になったと思います。始めは会話や食事、トイレなどに苦労しましたが、慣れたころには毎日が楽しく、いい思い出ができました。この経験は今後の人生の中で役に立つと思います。